

PMVの研究展開動向

柏の葉Mobility Forum 2017 (@東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト 2017/2/18)

ロボット特区により公道走行を実現したつくば、経済産業省の企業実証特例制度を活用して実証実験を進める二子玉川、自動車メーカーとして実証実験を展開するトヨタ、そして、公・民・学連携で取り組む柏の葉。パーソナルモビリティの公道走行実験に取り組む4主体が、柏の葉に集まります。当フォーラムは、東京大学の先端的な研究と各地の公道走行実証実験から、パーソナルモビリティの現在と今後の可能性を探ることを目的として開催されました。



概要

- ◇講演1 搭乗型移動支援ロボットと規制緩和への歩み
つくばモビリティロボット実証実験推進協議会 事務局長 飯村通治 氏
- ◇講演2 歩行者と一人乗りビークルとの混在交通に関する走行実験
東京大学 生産技術研究所 井料美帆 准教授
- ◇講演3 自動車メーカーとして取り組むパーソナルモビリティロボットの開発と公道走行実証実験
トヨタ自動車株式会社パートナーロボット部 中島裕一朗 氏
- ◇パネルディスカッション これからの都市とパーソナルモビリティ
コーディネーター 東京大学 生産技術研究所 中野公彦 准教授
パネリスト つくばモビリティロボット実証実験推進協議会 飯村通治 氏
二子玉川地区交通環境浄化推進協議会 橋たか 氏
柏の葉セグウェイクラブ会長 村田良介 氏
- 《セグウェイ無料体験会》
◇フォーラム終了後にセグウェイ無料体験会

次世代モビリティ展 (@千葉幕張メッセ 2016/4/20~22)

須田研究室では他の研究機関・他大学とも連携し、次世代モビリティ研究センター(ITSセンター)として千葉幕張メッセで開催されたテクノフロンティア2016~次世代モビリティ展~にて、PMVの展示・デモ・講演を行った。



					
Stavic-A	Stavic-4H	マルチパーパスモビリティ(mPm) 国立環境研究所・株式会社ラネット	大阪府立大学 中川研	東京大学生産技術研究所 井料研(当時)	高齢者向け アシスト車両 東洋大学 高橋教授

自動車技術会 2016春季大会 (@パシフィコ横浜 2016/5/25~5/27)

須田義大は「これからの時代の交通システム、街づくりの方向性と課題」と題し、その中でエコシステムを考慮したPMVの受容性検討が重要であると基調講演を行った。また、産学官のパネルディスカッション「パーソナルモビリティの可能性と未来」において、モデレーターを務めた。

フォーラム名「出かけよう！未来を変えるパーソナルモビリティで！」(デザイン部門委員会)

13:30	13:35	司会	フォーラム開始、スケジュール説明	齋藤 和彦 山崎 章弘	長岡造形大学 (株)東京R&D
13:35	13:40	挨拶	開会の挨拶	高嶋 晋治	株式会社 本田技術研究所
13:40	14:10	講演者	基調講演 : これからの時代の交通システム、街づくりの方向性と課題	須田 義大	東京大学
14:10	14:40	講演者	ホンダのパーソナルモビリティの取り組み	矢口 忠博	株式会社 本田技術研究所
14:40	15:10	講演者	トヨタのパーソナルモビリティの取り組み	谷中 壮弘	トヨタ自動車株式会社
15:10	15:40	講演者	超福祉展 Super Welfare EXPOの取り組み~将来のパーソナルモビリティへの要望~	須藤 シンジ	NPO法人ビーブルデザイン研究所
15:40	15:50		休憩		
15:50	16:50	モデレーター パネリスト パネリスト パネリスト	パネルディスカッション「パーソナルモビリティの可能性と未来」	須田 義大 矢口 忠博 谷中 壮弘	東京大学 株式会社 本田技術研究所 トヨタ自動車株式会社
16:50	16:55	挨拶	閉会の挨拶	須藤 シンジ	NPO法人ビーブルデザイン研究所
16:55	17:00	司会	終了	高嶋 晋治 齋藤・山崎	株式会社 本田技術研究所

エコシステムとは
本来は「生態系」の意味。
経済やIT業界において、
複数の企業や登場人物、
モノが有機的に結びつき、
循環しながら広く
共存共栄していく仕組み

